



研究校 **上田市立北小学校**

共同研究者 **早坂 淳** (長野大学 教授)

テーマ

「自ら学びに向かう子ども」
～「問い」を基にした3つの視点を
手掛かりにする探究活動を通して～

10年後20年後に大輪の花を咲かせるために

本校では、10年後20年後に大輪の花を咲かせる子どもの姿を見据えた教育活動に取り組んでいます。本年度は、生活科と総合的な学習の時間において、本校の強みと課題に合わせた「3つの視点」を手掛かりにする探究活動から、「自ら学びに向かう子どもの姿」について、追究しています。

<3つの視点>

1 授業づくりの基本 (探究的活動における教師の仕掛けと支援)

この視点の部会では、子どもの「問い」が位置づくための教師の仕掛けによって、生活科・総合的な学習の時間における力強い追究をする子どもの姿について考えを深めています。

2 教科横断的な学び (生活科・総合的な学習の時間での学びと各教科との学びが繋がる探究活動の構想)

この視点の部会では、「問い」に対する、子どもたちの学び方に注目し、自ら学びに向かう子どもの姿から、生活科・総合的な学習の時間と各教科との相互のつながりについて考えを深めています。

3 地域との協働 (共に考え、想いを形にしていく地域住民と子どもの学びの構想)

この視点の部会では、子どもたちが「問い」を多様な他者とかわりながら追究することに注目しています。そして、学びの深まりや喜びの分かち合いによる、自ら学びに向かう子どもの姿について考えを深めています。

これまでに長野大学 社会福祉学部 教授の早坂 淳 先生を講師に迎え、授業公開・授業研究および講演会を行ってきました。「子どもたちと共に探究し協働することを一緒に楽しみましょう」「探究している大人の姿から、子どもたちは学ぶ」という早坂先生の言葉に感銘を受け、私たちは、子どもたちとともに探究、協働し、生活科、総合的な学習の時間を大いに楽しんでいます。



共同研究者 早坂先生から

「自ら学びに向かう子ども」を育てるには「自ら学びに向かう職員集団」が前提になるはず。そのための研修は「やらされている感」から脱却し、子どもへの「願い」を抱いて「やってみたい」ことを実践する場でなければなりません。北小では、子どもの幸せを願って、職員集団が探究する研修を展開しています。

～日程～

① 授業公開 13:15～14:00

② 開会式 14:15～14:35

③ シンポジウム
14:35～15:35

④ 講演会 早坂 淳先生
15:45～16:35

「生活科・総合的な学習の時間における探究的な学び」
～3つの視点をもとにして～

⑤ 閉会式 16:35～16:50